

グローバル機械工学人材交流プログラム

GME (Exchange Program for Global Mechanical Engineers)

- 機械・シス創・精密の三専攻がJASSOからの支援を受けて行う交換留学プログラム
- 渡航先候補：
 - KTH (スウェーデン・ストックホルム)
 - ケンブリッジ大学 (英国・ケンブリッジ)
 - ブラウンシュバイク工科大学 (ドイツ)
 - EPFL (スイス・ローザンヌ) 【派遣枠: 0名】
 - Rice University (米国・ヒューストン)
- 留学手続き, 先方とのコンタクトをサポート
- 経済的支援については, 渡航先により条件が異なる

奨学金（経済的支援）

- KTH、ケンブリッジに対しては、**JASSO**により、**8万円/月の滞在費**を支援
 - ただし、原則として航空運賃は支給無し
- ブラウンシュバイク工科大学に対しては、**Erasmus+**により、**850 ユーロ/月の生活費**と**1500 ユーロの航空券代**を支給
 - ただし、JASSO による滞在費（月額8 万円）の支給は無し
- EPFLとRiceに対しては、2024年度は**経済的支援なし**

募集定員・期間等

- 3専攻合計で、**10名程度**を募集
(経済支援が不要であれば、追加で若干名を派遣可能)
- 留学期間は**1～12ヶ月**
(トータルの人・月数に制限があるため、
長期の設定については応相談)
- 留学開始時期は、
最も早くて 2024年 8月
(最も遅いと 2025年 3月)

本プログラムの特徴

✓ 研究室に所属できる

- 通常の交換留学は、講義履修が中心
 - 普段の居場所が無い
- 本プログラムは、研究室に所属して研究プロジェクトに従事
 - 研究室という居場所ができる
 - 周囲の人とも仲良くなりやすい
 - 現地での研究体験が詰める

✓ 手続きの期間が短い（ただし、その分、作業が大変）

- 通常の留学だと1年近く前から準備
- 本プログラムは、半年の準備期間で渡航できる

✓ 留学期間が自由に設定できる

- 通常の留学は、 Semester単位（半年 or 1年）
- 本プログラムは、1～12ヶ月の範囲で自由に設定可能

⊘ 経済的な支援は限定的

- 原則として、渡航費(チケット)支援無し（ブラウンシュバイク除く）
- 滞在費8万円／月 など

参加要件

- 日本国籍 もしくは 永住権 (JASSO規定による)
 - パスポートを保持していること (期限に注意)
 - 前年度の成績平均が 2.3 以上
 - TOEFL 70 点以上
-
- JASSO規定により, 本人の収入による制限あり
 - JASSO第1種 / 第2種奨学金との併用も可
-
- 留学先での単位取得は無し
 - 東大にて, インターンシップとしての単位を認める (機械工学専攻「長期インターンシップ」4単位)

成績要件について

- 前年度1年間の成績を平均
- **2. 3以上**が必要
 - 成績証明書(コピー可)を提出すること

[成績評価係数の算出方法例]

下記の表により「成績評価ポイント」に換算し、計算式に当てはめて算出(小数点第3位を四捨五入)

	成績評価				
		優	良	可	不可
4段階評価(パターン1)	—	優	良	可	不可
4段階評価(パターン2)	—	A	B	C	F
4段階評価(パターン3)	—	100～80点	79～70点	69～60点	59点以下
5段階評価(パターン4)	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点以下
5段階評価(パターン5)	S	A	B	C	F
5段階評価(パターン6)	A	B	C	D	F
成績評価ポイント	3	3	2	1	0

語学要件について

- TOEFL iBT 70点以上

ただし、出願までの期間が短いことから

- 他の英語スコア (TOEIC, 英検, IELTS...) も認める
- スコア無しの場合は要相談
 - 面接により実質的な英語力を評価
(スコアを提出しても面接による評価は実施)
 - コミュニケーション力を重視

JASSOの奨学金受給のための収入要件

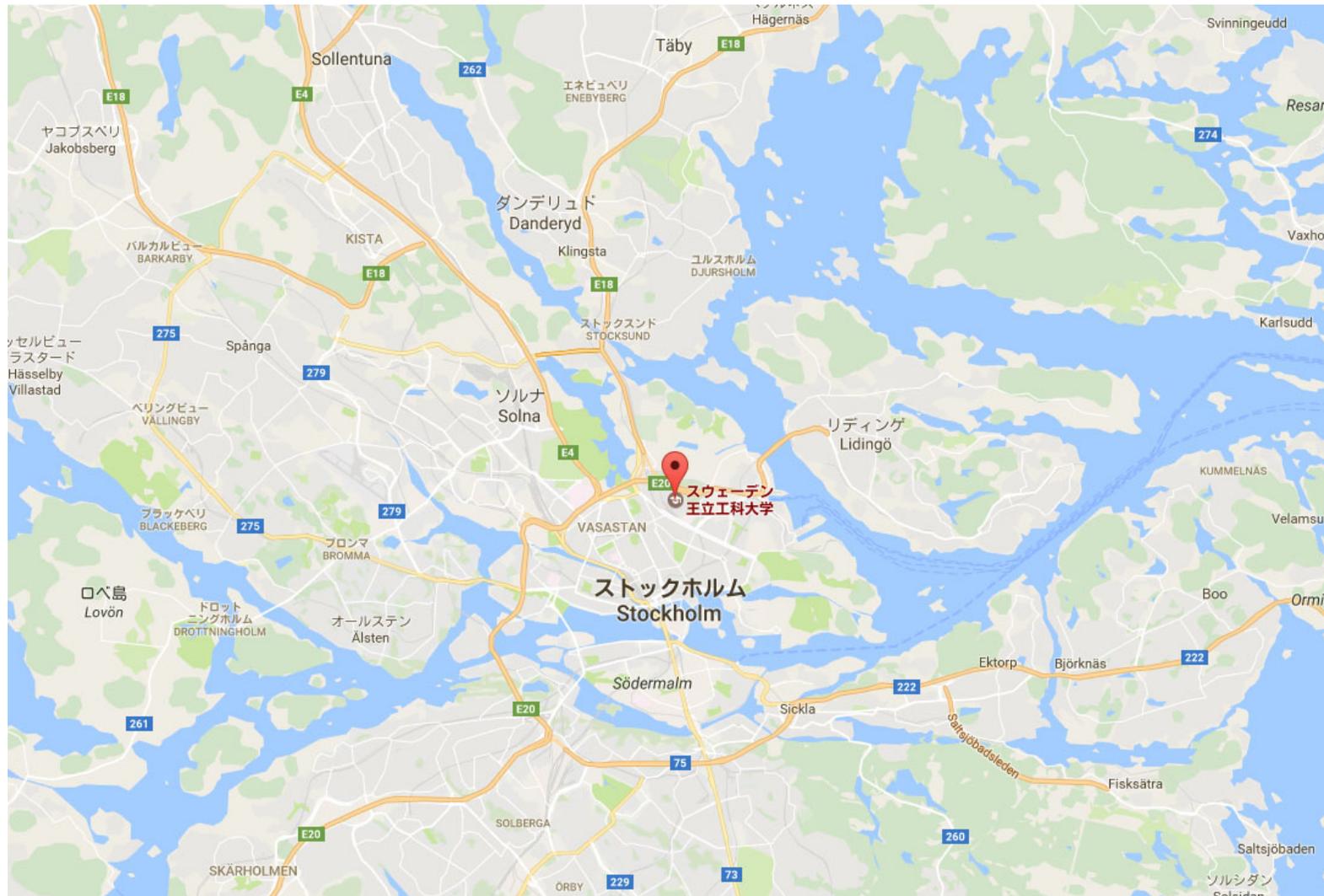
- 「**経済的理由により、自費のみでの派遣プログラムへの参加が困難な者**」
- 「困難」の具体的な指標は示されていないが、以下が目安
 - **本人および配偶者の収入が「536万円以下」**
- JASSOの第1種／第2種との併給も可能。ただし、JASSOが実施する国内の奨学金「給付奨学金」との併給は認められない
- 留学用に他の奨学金を受けることも可能。
ただし、支給月額が8万円を超えないこと

渡航支援金について

- 特に経済的に困窮するものにはフライト代**16万円の追加補助**あり
 - **世帯収入**が300万円以下
- (New) 一定の派遣期間を満たす者には、**13万円の追加補助**あり

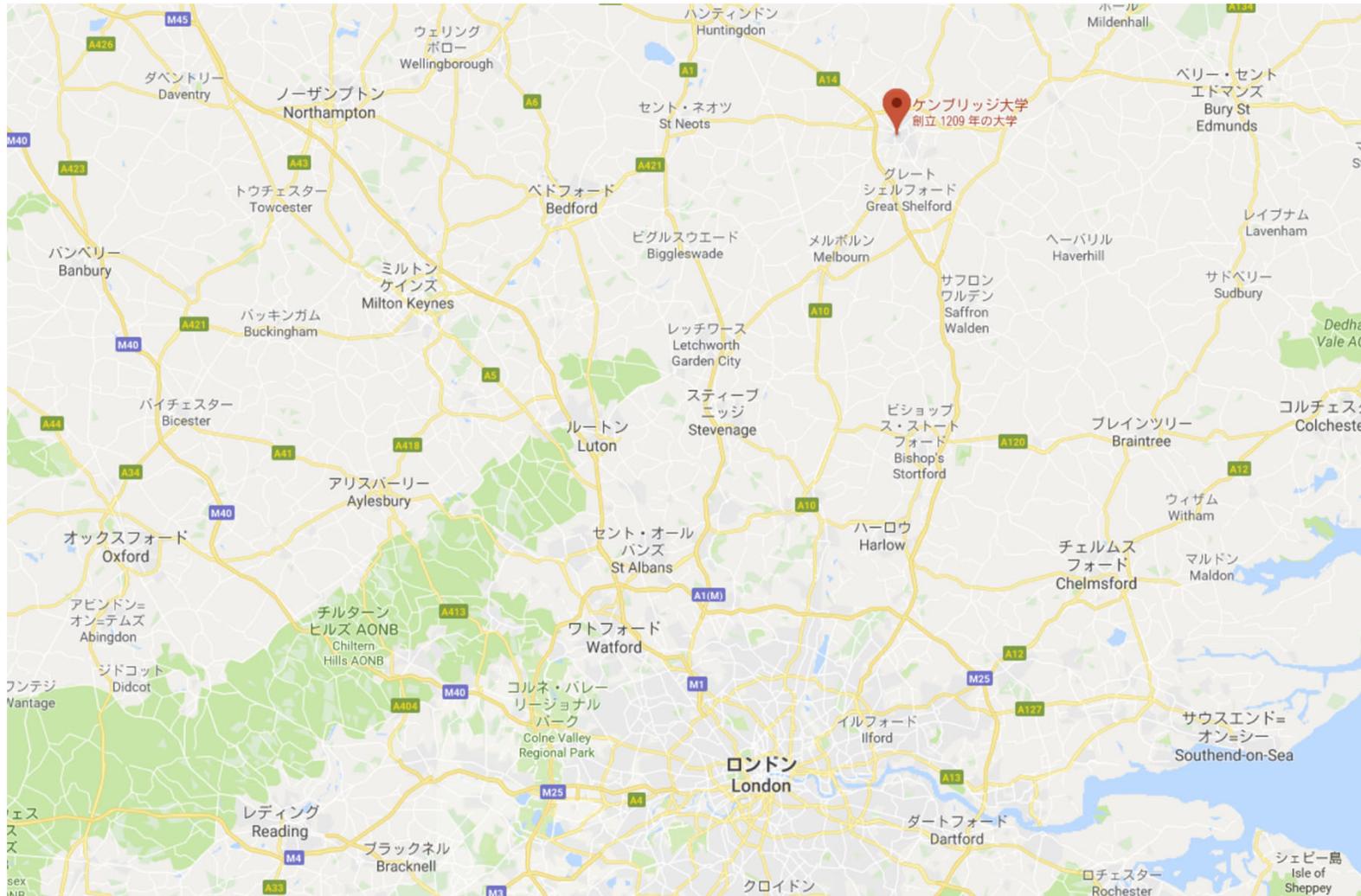
KTH スウェーデン王立工科大学

- 北欧の名門工科大学
- 東大と活発な交流



University of Cambridge ケンブリッジ大学

- イングランド東部に所在する世界屈指の名門大学
- 東大と定期的な交流あり

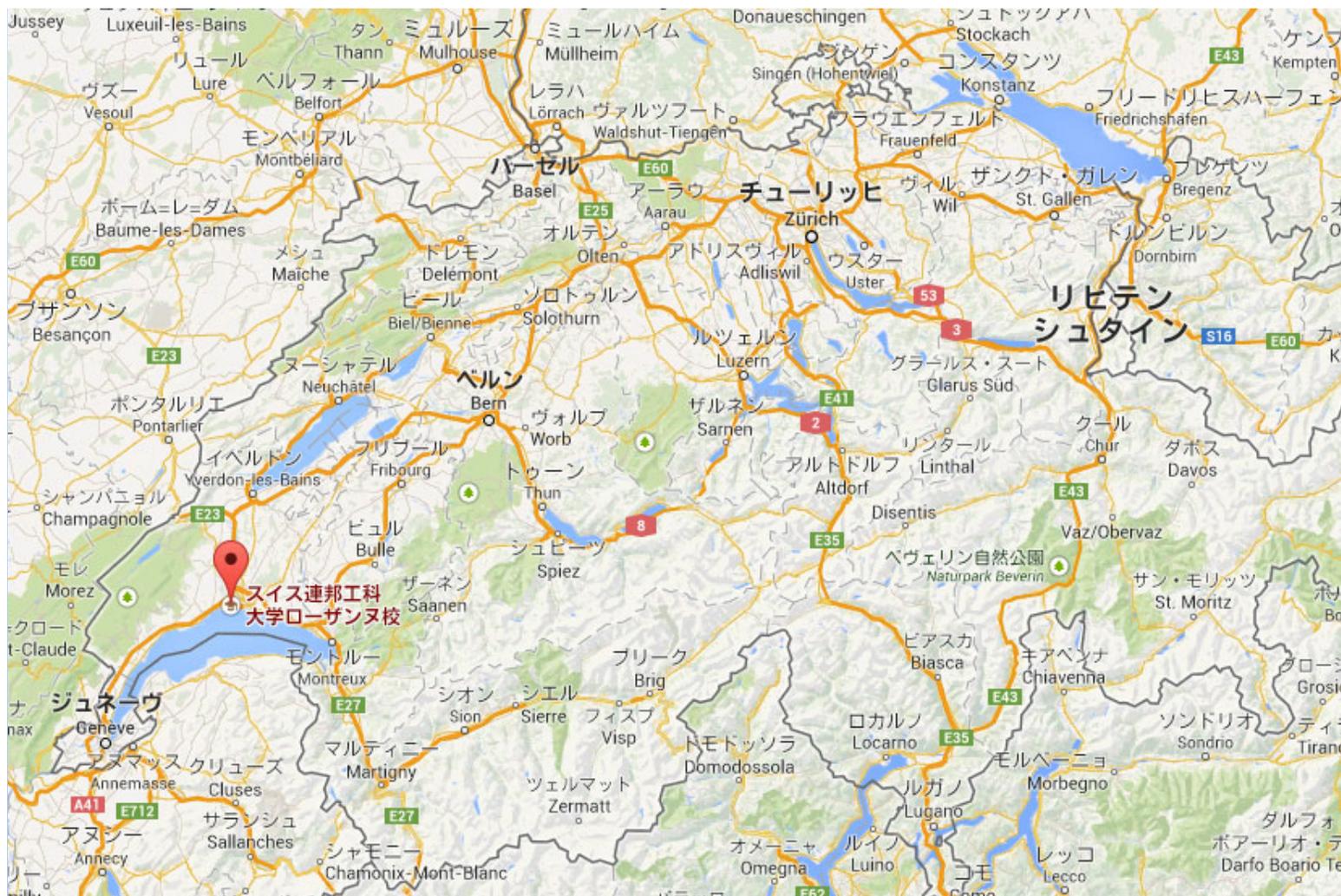


- ドイツ国内の工科大学9校が加盟するTU9の一角
- 数学者ガウスの出身校



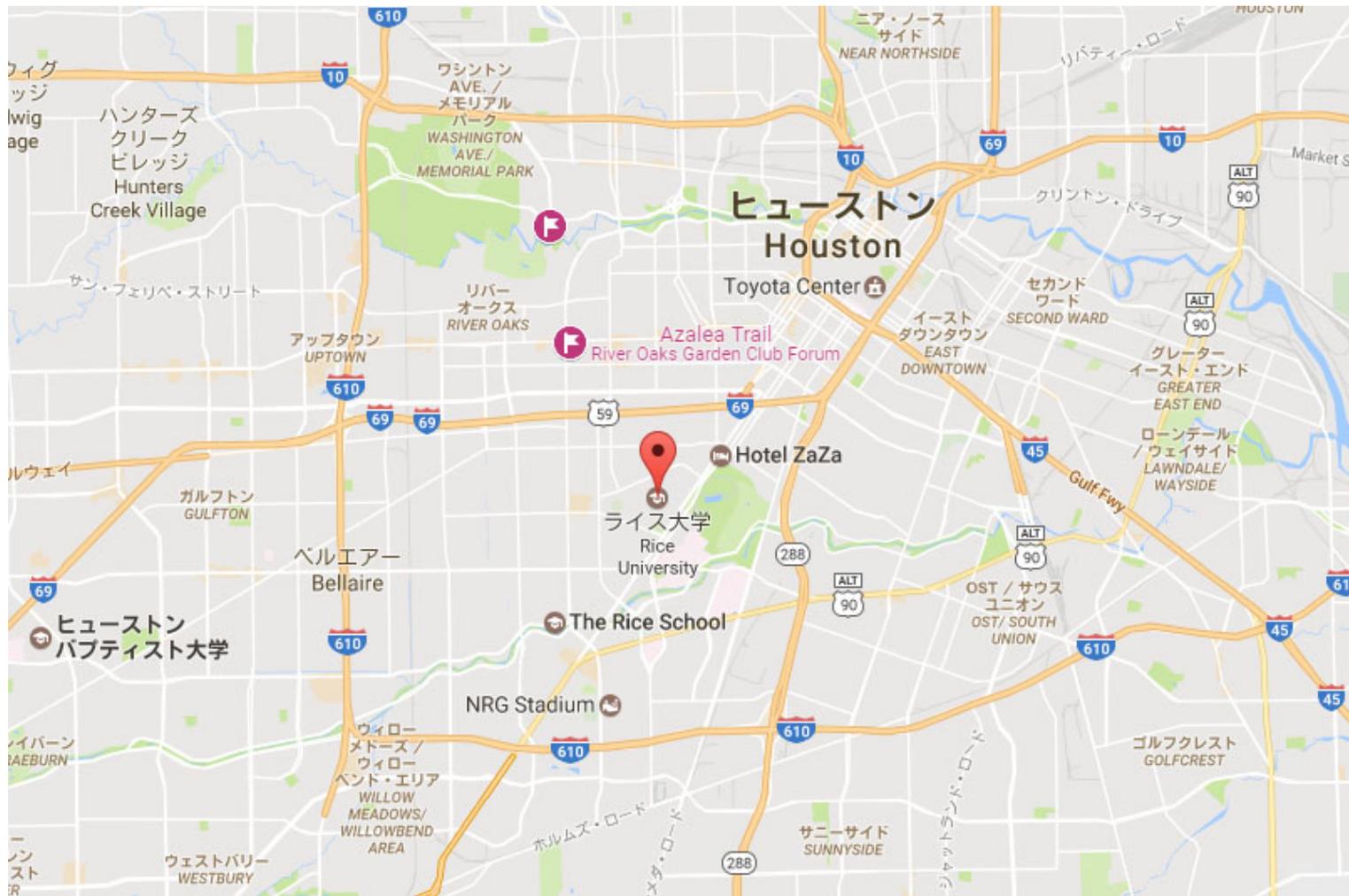
EPFL 連邦工科大学ローザンヌ校

- スイスの2つある連邦工科大学の一つ
- フランス語圏



Rice University ライス大学

- 米国南部屈指の名門大学
- 「南のハーバード」



2023年度 派遣実績

- KTH: 4名
- ケンブリッジ(※): 2名
- ブラウンシュバイク: 1名
- Rice: 1名

- (参考:2022年度派遣実績)
 - KTH: 3名
 - ケンブリッジ: 3名
 - EPFL: 1名
 - ETH、Rice: 0名

(※) 原則、ケンブリッジ大学に留学する場合は滞在費・渡航費に加えて、大学に対してbench fee (500ポンド/月)を支払う必要がある。ただし、GMEプログラムによる派遣者は免除される予定

■ KTH: 5名

- ✓ **4/15 正午(スウェーデン時間)まで**にオンライン申請
- ✓ 例年, 8月に現地で英語集中コースを開講してくれる
- ✓ (絶対の保証は無いが)寮は手配してもらえる

■ Cambridge: 2名

- ✓ 寮は自力で探す(先輩や現地の先生などにコンタクトする)
- ✓ 分野のマッチングがとれるのは, [IfM](#)が中心.
- ✓ 木下への事前コンタクトを推奨

■ TU Braunschweig: 2名

- ✓ 2020年度から開始なので詳しい情報なし
- ✓ 寮はあるが、必ず入れるという保証はない
- ✓ ラボマッチングが可能なのは, [IWF](#)と[AIP](#)という2つの研究所のみ
- ✓ 木下への事前コンタクトが必須

■ EPFL: 0名【経済的支援なし】

- ✓ オンライン申請が必要
- ✓ 寮は自力で探す(先輩や現地の先生などにコンタクトする)
- ✓ ラボマッチングの時間的余裕が無いので、自分自身で派遣先研究室と交渉できる人のみを派遣候補者とする(高い英語力が必須)
- ✓ 木下への事前コンタクトが必須

■ RICE: 若干名【経済的支援なし】

- ✓ 派遣に際しては高い英語力を求める(TOEFL 70ではダメ)
- ✓ 寮は無い. 現地でアパートを探す

留学スケジュール（モデルプラン）

- 標準的なスケジュール（9月渡航・4ヶ月間）
 - 4月中旬までに、渡航先（具体的なラボまで）を決定し、先方大学に書類送付
 - 5月：留学ビザ／滞在許可申請
 - 7月：（うまく行けば）寮が確定
 - 9月初旬：渡航
渡航先の研究室で研究（4ヶ月間）
 - 12月下旬：帰国
 - 2月／3月：成果報告会

今後の流れ

- 家族，指導教員と相談し，許可を得る
 - 指導教員の許可が無い学生は申込み不可
 - 家族とも相談し，経済的な目処をつけておく（ビザ取得に経済力の証明が必要）
- 行き先の希望を決める
 - 大学だけでなく，具体的なラボの候補が2～3件あることが望ましい
 - テーマのマッチングによっては希望大学に行けない場合もあるので複数の大学のラボを検討しておくこと
- **4/2(火)17:00** までに，各専攻の担当教員に申込み
 - メールタイトルには「**GME留学申込み**」
 - 「**行き先**」「**期間**」の希望を明記（行き先は，複数の希望を記載のこと）
 - 担当教員からの返信を確認すること
- **4/4(木)の夕刻，4/5(金)の夕刻**に面接を実施する予定
 - 2023年度成績証明書と英語スコアのコピーを持参すること